

計 画 概 要 書

足羽文殊地区 維持管理計画概要書

足羽文殊土地改良区

第1章 事業の目的

土地改良区域内全域の県営土地改良事業及び団体営土地改良事業等で造成された土地改良施設(用排水路・農道・揚水機場等)が常に良好な状態に維持管理を行い、農業経営の安定化を図ることを目的とする。

第2章 地域の所在と現況

地域 福井市： 新開町・太田町・下河北町・上河北町・上細江町
大土呂町・下細江町・二上町・帆谷町・半田町
(詳細は一定地域調書に記載)

	田	畑	その他	計
地積福井市	382.5 ha	2.8 ha	-	385.3 ha
合計	382.5 ha	2.8 ha	-	385.3 ha

第3章 施設の概要と維持管理方法

第1節 用水施設関係

1) 用水施設の種類、規模及び維持管理の方法

(1) 用水路（開水路）

区分	数量	構造及び規格	管理主体	管理方法	備考
開水路	33,505.6m	BF・JBF	足羽文殊 土地改良区	施設は土地改良区が所有し、補修等の管理は土地改良区で対応する。 損傷箇所の点検、軽微な補修、泥上げ等の通常管理は各集落で対応する。	
		200×115～800×490			
	6,881.4m	現場打コンクリート			
		150×300～3300×1000			
	1,819.0m	門型			
		250×250～800×1400			
	1,618.0m	フリューム (F)			
		250×600～1800×800			
	648.0m	排水フリューム (HF)			
300×300～1350×700					
240.0m	ブロック積				
	1450×950				
47.0m	ポリエチレンダブル管				
	φ100				
11.0m	ボックスカルバート				
	400×300				
合計	44,770.0m				

(2) 用水路（パイプライン）

区分	数量	構造及び規格	管理主体	管理方法	備考
パイプライン	20,327.1m	硬質塩化ビニル管 (VU)	足羽文殊 土地改良区	施設は土地改良区が所有し、補修等の管理は土地改良区で対応する。 損傷箇所の点検、運転操作、軽微な補修等の通常管理は各集落で対応する。	
		φ50～300			
	5,586.0m	石綿管			
		φ100～450			
973.7m	硬質塩化ビニル管 (VP)				
	φ75～100				
60.0m	SGP				
	φ300				
合計	26,946.8m				

(3) 揚水機場

区分	構造及び規格	数量	管理主体	管理方法	備考
太田 揚水機場	両吸込渦巻ポンプ φ 250mm×30kw× 6.456m ³ /min×18.0m×2台	1箇所	足羽文殊 土地改良区	施設は土地改良区が所有し、運転に要する電気料、補修等の管理は土地改良区で対応する。 運転操作、損傷箇所の点検、軽微な補修等の通常管理は各集落で対応する。	
大土呂 揚水機場	両吸込渦巻ポンプ φ 350mm×250kw× 17.0m ³ /min×20.0m×2台	1箇所			
半田 揚水機場	両吸込渦巻ポンプ φ 200mm×18.5kw× 3.51m ³ /min×15.5m×2台	1箇所			
新開 揚水機場	立軸軸流ポンプ φ 300mm×11kw× 12.0m ³ /min×3.2m×1台	1箇所			
二上 揚水機場	着脱式水中ポンプ φ 200mm×11kw× 3.3m ³ /min×8.3m×1台	1箇所			
帆谷 揚水機場	水中ポンプ φ 150mm×11kw× 0.105m ³ /min×12.0m×1台	1箇所			
合計		6箇所			

(4) 貯水槽

区分	構造及び規格	数量	管理主体	管理方法	備考
太田 貯水槽	掘込式 11.0m × 17.0m × 1.5m 最大容量 V=280.5m ³	1箇所	足羽文殊 土地改良区	施設は土地改良区が所有し、補修等の管理は土地改良区で対応する。 損傷箇所の点検、軽微な補修、泥上げ等の通常管理は各集落で対応する。	
大土呂 貯水槽	掘込式 7.6m × 15.2m × 7.1m 最大容量 V=820.2m ³	1箇所			
半田 貯水槽	掘込式 8.0m × 9.0m × 3.8m 最大容量 V=273.6m ³	1箇所			
帆谷 貯水槽	掘込式 8.0m × 8.0m × 3.1m 最大容量 V=198.4m ³	1箇所			
合計		4箇所			

第2節 排水施設関係

1) 排水施設の種類、規模及び維持管理の方法

(1) 排水路

区 分	数 量	構造及び規格	管理主体	管 理 方 法	備 考
開水路	31,684.5m	排水フリーム (HF)	足羽文殊 土地改良区	施設は土地改良区が所有し、補修等の管理は土地改良区で対応する。 損傷箇所の点検、軽微な補修、泥上げ等の通常管理は各集落で対応する。	
		300×200～1900×1150			
	5,976.1m	門型			
		350×300～500×1900			
	5,124.0m	アーム柵渠			
		500×500～3000×900			
	2,854.9m	BF・JBF			
		200×150～1000×600			
	1,479.9m	現場打コンクリート			
		350×250～1500×1100			
	3,238.7m	ブロック積			
		1300×600～4300×1470			
	683.0m	フリーム (F)			
		400×500～1500×1000			
	414.5m	ポリエチレングラブル管			
		φ 200～600			
353.0m	自由勾配側溝				
	300×1250～600×1500				
283.3m	U型				
	150×150～300×300				
204.0m	ヒューム管				
	φ 1200				
119.0m	ボックスカルバート				
	2500×2500				
144.5m	ポリエチレン管				
	φ 400～500				
25.0m	土水路				
	1800×800				
合 計	52,581.4m				

第3節 農業用道路その他農用地の保全又は利用上必要な施設関係

1) 農業用道路の規模、構造及び維持管理の方法

(1) 農道

区 分	構造及び規格	数量	管理主体	管理方法	備 考
農道	アスファルト舗装 W=2.6(1.6)~10.8(9.8)	25,880.0m	足羽文殊 土地改良区	施設は土地改良区が所有し、 補修等の管理は土地改良区で 対応する。 損傷箇所の点検、軽微な補 修、草刈等の通常管理は各集 落で対応する。	
	コンクリート舗装 W=1.2(0.2)~2.5(1.5)	1,106.7m			
	砂利舗装 W=2.2(1.2)~7.3(6.3)	5,551.7m			
合計		32,538.4m			

第4章 費用の概算

年間維持管理費 17,332 千円 ※ 別添参考資料参照

第5章 効 用

減産防止額(年間) 26,925 千円 ※ 別添参考資料参照

第6章 他の事業との関連

農業構造改善事業 下河北地区 (S38~S40)
 ほ場整備事業 東郷細江地区 (S40~S41)
 高速道路関連農業基盤整備事業 上河北地区 (S42~S44)
 ほ場整備事業 大土呂地区 (S44~S46)
 ほ場整備事業 二上地区 (S47~S49)
 新農業構造改善事業 太田地区 (S58~S59)
 経営体育成基盤整備事業 半田地区 (H13~H19)
 新幹線関連機能補償工事 (H30~R5)
 経営体育成基盤整備事業 (土地総) 文殊地区 (H30~R5)

第7章 計画概要図

別添のとおり

一 定 地 域 調 書

一 定 地 域 調 書

市町村	大 字	字	地 域
福井市	太田町	3・4・6～12・14～17・19・20	一円の農用地
		22・23・25・27～31・33・34	
		37～39・41・43・46・47	
	大土呂町	1～11・13～27	
	上河北町	2～38	
	上細江町	1～10・13・14・17・19・21～24 27～32・34～39・41・42	
	下河北町	7・8・11～15・23～35・38～43 45・46・48～50・52・54～56	
	下細江町	1～4・6～8・10～13・15～17・19 21	
	新開町	1～6・8・9・14・15・17～21	
	半田町	2～10・12～16・18～23・27～29 31～33・35	
二上町	1～5・8・10・11・13・15～17		
帆谷町	6・8～10・12・15・16・21・25		

参 考 资 料

1. 維持管理費の算定（基準年：令和6年度）

(1) 用水路

用水路維持管理費（開水路）	・・・	$44723\text{m} \times 40\text{円}/\text{m} \div$	1,789 千円/年
用水路維持管理費（管水路）	・・・	$26993.8\text{m} \times 25\text{円}/\text{m} \div$	675 千円/年

合 計

2,464 千円/年

※令和6年度福井県調査資料により算出

(2) 揚水機場

太田揚水機場

維持修繕費	・・・	$30\text{kw} \times 2 \times 7760\text{円}/\text{kw} \div$	466 千円/年
電気料金（実績）			573 千円/年

大土呂揚水機場

維持修繕費	・・・	$250\text{kw} \times 2 \times 7760\text{円}/\text{kw} \div$	3,880 千円/年
電気料金（R6実績および推定）			1,483 千円/年

半田揚水機場

維持修繕費	・・・	$18.5\text{kw} \times 2 \times 7760\text{円}/\text{kw} \div$	287 千円/年
電気料金（実績）			432 千円/年

新開揚水機場

維持修繕費	・・・	$11\text{kw} \times 1 \times 7760\text{円}/\text{kw} \div$	85 千円/年
電気料金（実績）			165 千円/年

二上揚水機場

維持修繕費	・・・	$11\text{kw} \times 1 \times 7760\text{円}/\text{kw} \div$	85 千円/年
電気料金（実績）			174 千円/年

帆谷揚水機場

維持修繕費	・・・	$11\text{kw} \times 1 \times 7760\text{円}/\text{kw} \div$	85 千円/年
電気料金（実績）			202 千円/年

合 計

7,917 千円/年

※令和6年度福井県調査資料、令和6年度農政局通達資料、土地改良区実績により算出

(3) 貯水槽

太田貯水槽

維持管理費	・・・	$280.5\text{m}^3 \times 3.1\text{円}/\text{m}^3 \div$	1 千円/年
-------	-----	--	--------

大土呂貯水槽

維持管理費	・・・	$820.2\text{m}^3 \times 3.1\text{円}/\text{m}^3 \div$	3 千円/年
-------	-----	--	--------

半田貯水槽
維持管理費 . . . $273.6\text{m}^3 \times 3.1\text{円}/\text{m}^3 \div$ 1 千円/年

帆谷貯水槽
維持管理費 . . . $198.4\text{m}^3 \times 3.1\text{円}/\text{m}^3 \div$ 1 千円/年

合 計

6 千円/年

※令和6年度福井県調査資料により算出

(4) 排水路

排水路維持管理費（開水路） . . . $51821.4\text{m} \times 78\text{円}/\text{m} \div$ 4,042 千円/年

排水路維持管理費（管水路） . . . $763\text{m} \times 77\text{円}/\text{m} \div$ 59 千円/年

合 計

4,101 千円/年

※令和6年度福井県調査資料により算出

(5) 農道

アスファルト・コンクリート舗装 . . . $107673.6\text{m}^2 \times 18\text{円}/\text{m}^2 \div$ 1,938 千円/年

砂利舗装 . . . $13720.3\text{m}^2 \times 66\text{円}/\text{m}^2 \div$ 906 千円/年

合 計

2,844 千円/年

※令和6年度福井県調査資料により算出

年間維持管理費

17,332 千円/年

※上記の金額は事業作成時のものであり
変動することがある

維持管理費基礎諸元

※令和6年度農政局通達資料および
土地改良区実績より

1. 揚水機場

太田揚水機場

電気料金 (実績)

(千円)

年度	R4	R5	R6	計	平均
4月	36	-	9		
5月	140	138	102		
6月	99	146	147		
7月	79	91	109		
8月	61	103	75		
9月	42	124	129		
10月	2	40	48		
11月	-	-	-		
12月	-	-	-		
1月	-	-	-		
2月	-	-	-		
3月	-	-	-		
計	459	642	619		
換算係数	1.000	1.000	1.000		
換算額	459	642	619	1,720	573

大土呂揚水機場

電気料金 (実績)

(千円)

年度	R6
4月	315
5月	353
6月	250
7月	145
8月	363
9月	57
10月	-
11月	-
12月	-
1月	-
2月	-
3月	-
計	1,483
換算係数	1.000
換算額	1,483

※ポンプ機能アップのためR6実績のみ

半田揚水機場

電気料金 (実績)

(千円)

年度	R4	R5	R6	計	平均
4月	35	39	26		
5月	105	46	123		
6月	90	37	86		
7月	67	39	50		
8月	53	114	96		
9月	31	47	40		
10月	30	32	31		
11月	32	33	-		
12月	5	8	-		
1月	-	-	-		
2月	-	-	-		
3月	-	-	-		
計	448	395	452		
換算係数	1.000	1.000	1.000		
換算額	448	395	452	1,295	432

新開揚水機場
電気料金 (実績)

(千円)

年度	R4	R5	R6	計	平均
4月	10	14	4		
5月	41	48	64		
6月	37	43	59		
7月	17	22	29		
8月	26	15	35		
9月	5	4	12		
10月	4	3	2		
11月	-	-	-		
12月	-	-	-		
1月	-	-	-		
2月	-	-	-		
3月	-	-	-		
計	140	149	205		
換算係数	1.000	1.000	1.000		
換算額	140	149	205	494	165

二上揚水機場
電気料金 (実績)

(千円)

年度	R4	R5	R6	計	平均
4月	14	8	3		
5月	52	18	52		
6月	44	26	56		
7月	28	19	25		
8月	17	42	38		
9月	5	14	16		
10月	-	43	3		
11月	-	-	-		
12月	-	-	-		
1月	-	-	-		
2月	-	-	-		
3月	-	-	-		
計	160	170	193		
換算係数	1.000	1.000	1.000		
換算額	160	170	193	523	174

帆谷揚水機場
電気料金 (実績)

(千円)

年度	R4	R5	R6	計	平均
4月	23	15	22		
5月	56	26	103		
6月	61	32	90		
7月	24	17	26		
8月	14	31	27		
9月	6	17	17		
10月	-	-	-		
11月	-	-	-		
12月	-	-	-		
1月	-	-	-		
2月	-	-	-		
3月	-	-	-		
計	184	138	285		
換算係数	1.000	1.000	1.000		
換算額	184	138	285	607	202

2. 減産防止額の算定

(1) 減産防止額

作物名 水 稻

農作物単価 253 円/kg

※ 令和6年度福井県調査資料より算出

単位生産量 527 kg/10a (福井市)

水稲	
年度	福井市
	10a当り収量
平成30年度	533 kg/10a
令和1年度	532 kg/10a
令和2年度	528 kg/10a
令和3年度	531 kg/10a
令和4年度	511 kg/10a
平均	527 kg/10a
受益面積	382.5 ha
本地率	98.5

※ 福井農林水産統計年報より算出

1) 用水管理効果

水稲の水管理効果で減収率を2%とする。

$$\begin{aligned}
 \text{減産防止額} &= \text{受益面積} \times \text{作付率} \times \text{本地率} \times \text{単位生産量} \times \text{農産物単価} \times \text{減収率} \\
 &= 382.5 \text{ ha} \times 67.0 \% \times 98.5 \% \times 527 \text{ kg/10a} \times \\
 &\quad 253 \text{ 円/kg} \times 2 \% \\
 &\approx 6,731 \text{ 千円}
 \end{aligned}$$

2) 排水管理効果

水稲の乾田化効果で減収率を6%とする。

$$\begin{aligned}
 \text{減産防止額} &= \text{受益面積} \times \text{作付率} \times \text{本地率} \times \text{単位生産量} \times \text{農産物単価} \times \text{減収率} \\
 &= 382.5 \text{ ha} \times 67.0 \% \times 98.5 \% \times 527 \text{ kg/10a} \times \\
 &\quad 253 \text{ 円/kg} \times 6 \% \\
 &\approx 20,194 \text{ 千円}
 \end{aligned}$$

減産防止額 = 1) + 2)
= 26,925 千円

※ 上記の金額は事業作成時のものであり
変動することがある。

令和6年度における経済効果算定の考え方

維持管理	計 画 年 経 費	R3諸元調査(維持管理費)より				
		工 種	区 分	係 数	備 考	
		用水路 (開水路)	受益:	50ha未満	20 円/m	延長当り
			受益:	50～100ha未満	22 円/m	〃
			受益:	100～200ha未満	25 円/m	〃
			受益:	200ha以上	40 円/m	〃
		用水路 (管水路)	受益:	50ha未満	16 円/m	〃
			受益:	50～100ha未満	20 円/m	〃
			受益:	100～200ha未満	24 円/m	〃
			受益:	200ha以上	25 円/m	〃
		排水路 (開水路)	受益:	50ha未満	74 円/m	〃
			受益:	50～100ha未満	77 円/m	〃
			受益:	100～200ha未満	87 円/m	〃
			受益:	200ha以上	78 円/m	〃
		排水路 (管水路)	受益:	50ha未満	65 円/m	〃
			受益:	50～100ha未満	64 円/m	〃
			受益:	100～200ha未満	77 円/m	〃
			受益:	200ha以上	— 円/m	〃
		農 道	A s 舗装		18 円/m ²	舗装面積当り
			砂利舗装		66 円/m ²	〃
揚排水機			7,760 円/kW	出力×台数当り		
ため池			3.1 円/m ³	有効貯水量当り		
頭首工	固定		27,736 円/m	堤長当り		
	フローティング		26,708 円/m	〃		
維持管理	電力料金	北陸電力 農事用電力(かんがい排水需要) (調査年: R06.4月時点)				
		種 別	料 金	備 考		
		基本料金		577.5 円/kW	①	
		電力料金	夏季料金	20.47 円/kWh	②7月1日～9月30日	
			その他季	19.92 円/kWh		
		関西電力 農事用電力(かんがい排水需要) (調査年: R06.4月時点)				
		種 別	料 金	備 考		
		基本料金		681.7 円/kW	①	
		電力料金	夏季料金	9.88 円/kWh	②7月1日～9月30日	
			その他季	8.81 円/kWh		
		※関西電力における農事用電力の新規受付は廃止されています。				
		関西電力 低圧電力 (調査年: R06.4月時点)				
種 別	料 金	備 考				
基本料金		1,132.7 円/kW	①			
電力料金	夏季料金	14.35 円/kWh	②			
	その他季	12.86 円/kWh				
※新規の場合は上記単価を用いること。						
(使用月数×①×kW+使用日数×使用時間hr/日×②×kWh)×消費税率1.10						
※但し、低圧電力を使用する場合は、次式による。						
(12ヶ月×①×kW+使用日数×使用時間hr/日×②×kWh)×消費税率1.10						

令和6年度 県営及び団体営土地改良事業計画の 経済効果測定のための標準値（参考値）について

福井県 農林水産部 農村振興課

1 生産物単価

- 福井県農業総合指導推進会議が示す主要作物の、最近5ヶ年分の県作物別年平均価格を消費者物価指数により換算し、平均した値は以下のとおり。

福井県 (単位：円/kg)

水稲	六条大麦	大豆	そば
253	53	167	275

- 農業物価統計で示す主要作物の、最近5ヶ年分の全国作物別年平均価格を消費者物価指数により換算し、平均した値は以下のとおり。

福井県 (単位：円/kg)

きゅうり	なす	すいか	トマト	はくさい	キャベツ
287	350	228	296	51	66

ねぎ	ほうれんそう	だいこん	えだまめ	さといも	ばれいしょ
331	503	75	706	342	132

やまのいも	ブロッコリー
231	311

※上記の主要作物以外は、別途協議を要する。

2 消費者物価指数

年 度	消費者物価指数
H22	94.8
23	94.7
24	94.5
25	95.3
26	98.1
27	98.3
28	98.3

年 度	消費者物価指数
29	99.0
30	99.7
R元	100.2
R2	100.0
R3	100.1
R4	103.3
R5	106.3

推定値

※ 消費者物価指数は令和2年度を基準（100.0）とした場合の指数である。

現況・計画転作率（ 福井市 ）

福井県農林水産統計年報 平成30年～令和4年

		59	1-1	
年 度	項 目	①耕 地 面 積	②水稲作付面積	③転 作 率
		(ha)	(ha)	(%)
	平成30年	7,460	5,330	28.6
	令和1年	7,800	5,290	32.2
	令和2年	7,760	5,210	32.9
	令和3年	7,750	4,990	35.6
	令和4年	7,730	4,970	35.7
	平 均 値	7,700	5,158	33.0

現況転作率は過去5ヶ年の平均値とした…………… 33.0 %

計画転作率は最近年の値とした…………… 35.7 %

ただし、計画転作率が現況転作率より小さい値の場合は、計画＝現況としてください。

作付面積及び収穫量一覧表(福井市)

福井県農林水産統計年報 平成30年～令和4年

作物名 年度	水稲			小麦			六条大麦			大豆			そば		
	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収穫量 (t)												
平成30年	5,330	533	28,400	83	202	168	857	169	1,450	435	129	562	576	36	208
令和1年	5,290	532	28,200	50	224	112	886	336	2,970	431	121	522	542	51	276
令和2年	5,210	528	27,500	42	136	57	928	329	3,050	412	122	503	555	74	410
令和3年	4,990	531	26,500	×	×	×	972	328	3,190	410	160	656	563	38	214
令和4年	4,970	511	25,400	×	×	×	1,040	361	3,740	435	126	548	604	27	161
計・平均	25,790	527	136,000	175	193	337	4,683	307	14,400	2,123	131	2,791	2,840	45	1,269
備考	市町村データ			市町村データ			市町村データ			市町村データ			福井県データ		

作物名 年度	さといも(年間)			だいこん(秋冬)											
	作付面積 (ha)	10a収量 (kg/10a)	収穫量 (t)												
平成30年	* 229	* 1,179	* 2,700	27	2,037	550									
令和1年	* 217	* 1,272	* 2,760	23	2,304	530									
令和2年	* 212	* 1,259	* 2,670	19	2,042	388									
令和3年	* 209	* 1,268	* 2,650	18	2,117	381									
令和4年	* 208	* 1,370	* 2,850	18	2,006	361									
計・平均	1,075	1,268	13,630	105	2,105	2,210						0			
備考	福井県データ														

※[*]印のある数値については、福井県全体のデータとする。

令和6年度支出済費用換算係数・消費税率						
年号	年数	和暦	西暦	換算係数1	消費税率	換算係数2 (S. 50=1.000)
H	10	H. 10	1998	1.425	0.050	
H	11	H. 11	1999	1.437	0.050	
H	12	H. 12	2000	1.433	0.050	
H	13	H. 13	2001	1.451	0.050	
H	14	H. 14	2002	1.455	0.050	
H	15	H. 15	2003	1.456	0.050	
H	16	H. 16	2004	1.433	0.050	
H	17	H. 17	2005	1.384	0.050	
H	18	H. 18	2006	1.360	0.050	
H	19	H. 19	2007	1.349	0.050	
H	20	H. 20	2008	1.270	0.050	
H	21	H. 21	2009	1.306	0.050	
H	22	H. 22	2010	1.295	0.050	
H	23	H. 23	2011	1.277	0.050	
H	24	H. 24	2012	1.328	0.050	
H	25	H. 25	2013	1.273	0.050	
H	26	H. 26	2014	1.239	0.080	
H	27	H. 27	2015	1.238	0.080	
H	28	H. 28	2016	1.258	0.080	
H	29	H. 29	2017	1.210	0.080	
H	30	H. 30	2018	1.204	0.080	
R	1	R. 1	2019	1.184	0.100	
R	2	R. 2	2020	1.196	0.100	
R	3	R. 3	2021	1.108	0.100	
R	4	R. 4	2022	1.000	0.100	基準年
R	5	R. 5	2023	1.000	0.100	
R	6	R. 6	2024	1.000	0.100	
R	7	R. 7	2025	1.000	0.100	
R	8	R. 8	2026	1.000	0.100	
R	9	R. 9	2027	1.000	0.100	
R	10	R. 10	2028	1.000	0.100	
R	11	R. 11	2029	1.000	0.100	
R	12	R. 12	2030	1.000	0.100	
R	13	R. 13	2031	1.000	0.100	

※令和6年度農政局通達資料より